

服飾デザイン科1年 校外研修へ行ってきました

【期 日】11月7日(木)

【目 的】見学を通して、学科の特色と地場産業を理解するとともに、専門科目の学習に対する関心を高め、積極的に取り組む意欲と自主性を養う。

【研修先】葛利毛織工業株式会社 長谷虎紡績株式会社 テキスタイル・マテリアルセンター

【対 象】服飾デザイン科 1年生 38人

葛利毛織工業株式会社見学

ウールを中心に風合いにこだわり、100年以上前から使用しているジョンヘル織機を使用し、世界・国内からの注文に応えている毛織の工程を見学しました。



長谷虎紡績株式会社見学

本社工場では繊維製品や産業資材などに使用される紡績糸を製造。平方工場では、カーペット、人工芝、玄関マット等を製造。創業明治20年の地域産業の中心となっている企業で紡績とカーペットの製作について学びました。



テキスタイル・マテリアルセンター

- ・(有)カナーレ 代表取締役社長 足立 聖 氏による素材講習
常に織物の開発に挑み続け、挑戦する大切さを学びました。SPHで先輩方が開発した反射材を使用したオリジナルテキスタイルをアレンジし、ハイブランドに買っていただけたことを教えていただきました。
- ・(有)イワゼン 代表取締役社長 岩田 善之 氏による素材講習
ジャカード織の基礎を教えていただきました。錯覚を利用した新しい生地を見せていただき、その製作方法に興味をもつことができました。



桜がデザインしたテキスタイルをアレンジした生地

【感想】

- ・今回の研修で、どのように糸や織物ができているか、カーペットの模様がどのようにつけられているかなど、とてもくわしく説明していただきました。これから授業で多くのものを作って行く私にとって、素材・模様・デザインなど大変勉強になり、貴重な経験ができました。
- ・アパレルというと、ファッションデザイナーやショップ店員などを思い浮かべますが、今回見学させていただいた、テキスタイル作りのようにとても繊細ですばらしい仕事をしている人たちがいるのだと、改めて思いました。1枚の布を作るために、本当にたくさんの労力や時間をかけていて驚きました。今日一日でとても多くの珍しいさまざまな布をみることができ、楽しかったです。今後の参考にしていきたいです。